

小学5年 総合 「テーマを決めて調べよう」

ねらい

自分の問い(課題)を解決するために、図書館の様々な資料(図書、百科事典、新聞など)を適切に選択して情報を集め、必要な情報を読み取る技能を身に付ける。

学習展開 (2時間)

- ① 日常生活の中を想起し、『好きなこと(もの)』『不思議に思っていること』『困っていること』の3点について考える。
- ② ①の中から特に興味のあるものを選び、問いを作る。
- ③ 問いについての予想を立てる。
- ④ 問いや予想を交流し、さらに予想を重ねたり、問いの作り方について話し合ったりする。
- ⑤ 予想が正しいかどうか調べられそうな本を選ぶ。
- ⑥ 関連するキーワードを考え、そのキーワードが属する分類の本から選書する。
- ⑦ キーワードが思い浮かばない場合や、見当がつかない場合は、百科事典で調べる。
- ⑧ 予想の答えになる内容など、必要な情報を収集し、ワークシートに書き記す。
- ⑨ 使った本の出典を確認し、記録する。
- ⑩ 本時での学習を生かし、夏休みの調べ学習コンクール等で活用していく。

指導のポイント

- ・事前に日常生活で感じていることを十分に想起させていたことで、スムーズに問いづくりへとつなげ、選書や図書利用への意欲へとつながるようにした。
- ・十分に問いや予想について話し合うことで、調べたい内容を明確にさせた。
- ・調べたい内容について書かれた本を選ぶときに分類や百科事典を活用し、複数の本から選べるよう司書と連携し、事前に本を準備した。



学校図書館との関わり

- ・司書部会作成スライドを自校の実態に合わせて改編し使用。「前半の問い作りは担任(司書教諭)・後半の本に関する説明は司書」の役割分担が効果的だった。
- ・司書は、分類が分からない子の相談に乗り、一緒に関連テーマを考えるなど、選書の際の相談役となった。
- ・本から読み取ったらよいことや、出典の書き方など、基本的な内容を担任と司書と一緒に机間指導したことで、時間内にほぼ全員がテーマ決めで終えた。